Ikura Elementary School　令和5年(2023年)11月17日(金)

令和5年度(2023年度)学校教育目標
学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり

玉名市立伊倉小学校だより　第１７号　発行　校長　福田　賢一

熊本県PTA研究大会
あしきた・みなまた大会

１１月１１日に第４９回となる標記の研究大会が芦北町民総合センター（しろやまスカイドーム）をメイン会場（他に津奈木町つなぎ文化センターと水俣市文化会館）として行われました。

会場ごとにテーマが設定されていました。芦北キャンパスは「防災」、津奈木キャンパスは「地域教育」、そして水俣キャンパスは「環境」です。

芦北キャンパスでは、まずパネルディスカッションがありました。パネリストは水俣芦北広域行政組合消防本部水俣消防署消防司令補の塚原洋二さん、芦北町教育委員会指導主事の山下暢子さん、芦北町役場総務課危機管理防災室係長の小川宏達さんです。三者とも令和２年７月豪雨災害の経験をもとに、いつどこでも起こりうる自然災害への備えを学び、命をつなぐために、そして子どもたちの未来をつなぐために、今からできる「防災対策」について共に考えることへ誘われました。

午後の記念講演は「今日も天気になあれ～繋がる笑顔～」と題して芦北町出身タレントのえみりイ―さんが熊本地震、突然の病気の告知、地元の豪雨災害とつらいことに見舞われながらも、マイナスをプラスに変える気持ちの向け方を明るい笑顔で語られました。当たり前の毎日は当たり前ではないことを改めて実感できました。

来年度は第５０回阿蘇大会（令和６年１１月９日）です。

玉名市小学校音楽会

〈玉名市民会館大ホール１１月１５日〉

講評で作見千絵先生（豊水小学校元校長）からお話しいただいた内容を来年度への参考として以下に記しておきます。

本番はいつもどおりにすること、練習は本番と思ってすること（これは私が「練習は本番のように、本番は練習のように」と言っていることと通じています。）。

合唱や演奏は指揮者を注目して心を合わせるにしても、声はその先にある一番遠くの壁に飛ばす気持ちで。

聴き方について。演奏が成功するかどうかは、その半分が聴く人にかかっている。演奏の成功は客席と一体となってこそ。

音楽は心の栄養になる。いつも心の中に音楽がある豊かな人生を過ごしていってほしい。

英語の絵本の読み聞かせ

１１月１４日の昼休みにＡＬＴのシェイ先生による英語の絵本の読み聞かせがありました。２冊準備されている中から子供たちのリクエストに応じて選ばれたのはエリック・カールの『はらぺこあおむし』でした。ちょうど図書室の壁面にもイラストがあり、絵本の雰囲気を感じながら生の英語を楽しむことができた伊倉っ子でした。

◇本校ホームページも随時更新しています。伊倉小学校で検索